



MISATO Town Assembly

# 議会だより

2017 **4** No.42

発行／宮崎県美郷町議会  
編集／議会広報特別委員会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1  
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137



恋人フェスティバル in 南郷 恋人の丘《3月19日(日)開催》



## 目次

- 平成 29 年3月定例会……………2～4P
- 一般質問 8名登壇……………5～9P
- 議会活動・編集後記……………9～10P



**【平成29年度一般会計 新規事業等】**

●空家対策支援事業補助金

美郷町に定住を目的に、町内にある空家の購入及び改修（リフォーム）をする場合に、100万円を上限として、それぞれの経費の1/2以内を助成するものです。

●住民提案のまちづくり活動支援事業補助金

町内の地区、団体で地域づくりや地域活性化の活動を行う事業に対して助成していた従来の「まち、人、心が輝く美しい郷づくり事業補助金」に替わり、本年度から同様の活動に対して新たに助成（1団体20万円）するものです。

●出産奨励祝金が改定されます

従来一律3万円を支給していましたが、世帯の第3子目以降の出生児より10万円が支給されます。

●みさと未来塾事業が実施されます

町が民間事業者と一括契約し、安価な授業料で、高校入試を控える中学3年生を対象に町内（西郷地区を予定）で実施するものです。希望者を募集し、7月から来年2月まで週1回を目途に継続して実施の予定です。

**【平成28年度 補正予算の概要】**

今回の補正は主に事業確定見込みによる不用額を減額するものです。

会計別	補正予算額	補正後予算額	
一般会計	△3億 478万円	86億7,363万円	
特別会計	国民健康保険事業	△2,194万円	13億7,475万円
	介護保険事業	253万円	10億8,798万円
	後期高齢者医療事業	△1万円	2億2,691万円
	簡易水道事業	(※①) 0万円	3億6,410万円
	農業集落排水事業	(※②) 0万円	1億2,667万円
	国民健康保険診療所事業	△712万円	3億5,087万円
	国民健康保険病院事業(収益的収支)	△3,200万円	6億 126万円
	国民健康保険病院事業(資本的収支)	△382万円	6,817万円
合計	△3億6,702万円	128億7,431万円	

(※①②予算の組み替えのみ)

《一般会計歳出の主なもの》

移住・定住対策事業費・・・1億2,678万3千円  
移住・定住人口の増加を図るため、旧黒木小学校校舎を移住・定住促進の拠点施設として、整備するもの。

【改修概要】 1階部分～おとし滞り施設及びレンタルオフィス  
2階部分～移住・定住住宅



旧黒木小学校校舎

**現地調査**

3月定例会会期中7日～15日までの7日間、平成29年度予算等審査特別委員会を開催し、町長、教育長以下各課長等の出席を求め説明を受けた後、質疑及び審査を行いました。また、関係予算に係る現地調査を実施しました。



宅地分譲事業「沢渡分譲地」(西郷 峰地区)



空家再生等推進事業「仁業」跡地(西郷地区)



美郷南学園教室床補修

**平成29年度 予算概要**

**一般会計 歳入歳出予算総額 75億2,211万2千円**

会計別	29年度当初	28年度当初	比較	増減率
一般会計	75億2,212万円	81億3,263万円	△6億1,052万円	△7.5%
国民健康保険事業特別会計	13億3,597万円	13億3,822万円	△226万円	△0.2%
介護保険事業特別会計	11億 589万円	10億4,608万円	5,982万円	5.7%
後期高齢者医療事業特別会計	2億4,266万円	2億2,006万円	2,261万円	10.3%
簡易水道事業特別会計	2億 278万円	3億9,668万円	△1億9,391万円	△48.9%
農業集落排水事業特別会計	1億1,798万円	1億1,737万円	61万円	0.5%
国民健康保険診療所事業特別会計	3億4,626万円	3億5,025万円	△399万円	△1.1%
国民健康保険病院事業会計(収益的収支)	6億2,165万円	6億3,093万円	△928万円	△1.5%
〃 (資本的収支)	6,184万円	8,609万円	△2,425万円	△28.2%
合計	115億5,711万円	123億1,826万円	△7億6,116万円	△6.2%

上記一般会計及び特別会計予算並びにこれに係る条例改正等については、「平成29年度予算等審査特別委員会」を設置し審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、審査意見として以下の8項目を付記しました。

- ①税をはじめとした、町の自主財源確保のため、未収金徴収については、徴収時の相手との記録や訪問履歴を確実に残すなど、事務手続きやチェック体制の強化を求める。
- ②家屋をはじめとする課税客体を、的確に把握すること。
- ③国保会計における一人当たり医療費が減少の傾向にあることは、非常に喜ばしいことである。担当課、関係団体、関係機関による様々な取り組みの成果であるものと感謝し、今後なお一層の努力を期待する。
- ④戸籍システムなどの各電算システム更新やCATV機器の更新など、その更新時期や更新内容を精査の上、前例踏襲にこだわることなく公平公正で、かつ、安価な調達ができるよう十分検討すること。
- ⑤各種制度や補助事業などの説明については、町広報への掲載はもちろんのこと、住民に対して丁寧な説明を行い周知すること。
- ⑥補助事業（補助金）については、事業成果を確実にものとするため、結果の検証を必ず行い、成果があがるよう徹底した指導を行うこと。
- ⑦誤伐や伐採後のトラブルを防止するため、伐採届提出の際に、行政からの十分な指導を求める。
- ⑧みさと未来塾事業については、学力向上の為に、しっかりとした効果のあがる手法で取り組むとともに、生徒の塾参加への不安要素とならないよう送迎などの配慮も十分対応していただくことを望む。
- ⑨医師確保については、医師不足の現況の中、平成29年度も2名の医師が確保できたことに、町長以下、関係者の努力に敬意を表する。
- ⑩危険木除去事業の運用については、真に危険なものを対象として、費用検討も含め慎重な対応を求める。

**3月 定例議会**

平成29年3月定例議会は、3月3日～17日までの15日間開催され、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算等40件の議案が提出され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。



# 町政を問う

## 一般質問

一般質問とは、議員が本会議で町政全般にわたり、町長等の執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する指針等について質問することです。一般質問は定例会に限り認められています。

本町では一問一答方式で、議員ひとりの持ち時間は40分です。

平成29年第1回定例会の一般質問は、3月6日、7日の2日間の日程で行われ、8名の議員が登壇しました。本定例会での主な質問と答弁の内容は、次のとおりです。

### 当初予算について



新玉 卓教 議員

① 来年2月の町長選挙出馬について  
伺う。

【答】次期選挙については、引き続き2期目の挑戦をさせていただきたい。  
② 29年度当初予算は、町長4年目となる予算編成である。公約で「経済浮揚対策」「高齢者及び障がい者福祉対策」「社会教育の充実」「快適な生活基盤整備の実施」「行財政改革」「黒木地区ベクトタウン化と救急医療体制の見直し」「旧3村の歴史的・伝統文化行事の復活」とある。29年度当初予算で完了するのか伺う。

【答】「住みよい豊かな町」を目指し、これから更に取り組まなければならない課題も山積しており、29年度では完了はしない。それ以降も引き続き強い使命感を持って参りたい所存である。

③ 29年度予算で地方交付税は28年度



猪被害状況

【答】町全体の有害駆除班員の意見を参考にして慎重に検討したい。

当初予算より2億3539万2千円不足している。不足する財源は、どのような対策を考えているのか伺う。  
【答】財源不足に当たっては、財政調整基金、公共施設等整備基金及び産業等振興基金等の基金繰入により対応する。  
【問】有害鳥獣駆除実施隊について有害鳥獣駆除は、南郷、西郷、北郷地区に4班体制で実施している。銃所持者が南郷37名、西郷30名、北郷43名いる。鳥獣被害が発生した時、日曜日でない仲間が揃わないのが実状であることから、早急に出動できる狩猟仲間の実施隊を設置できないか伺う。

【問】ジビエ対策について28年9月定例会で町としてのジビエ普及に対して本格的に取り組む考えがあるか伺った際、「以前南郷地区で狩猟鳥獣肉の有効活用を図れないかと要望があり、県も推進しているところなので前向きに検討する」との答弁だった。29年度予算でジビエ工事業に取り組むことはできないか伺う。  
【答】美郷町に解体場を建設する場合でも費用対効果をはじめ、肉の調達や実施主体、解体場の規模、建設場所等についても検討している。また、町の財政負担軽減からも国、県の補助事業を考えている。

【問】観光施設のトイレ改修について町観光施設に設置されている公衆トイレは、大部分が和式であり、洋式はごくわずかで暖房便座ではない。暖房便座に変更できないか伺う。

【答】洋式への改修については、高齢者社会及び障がい者等弱者への対応を含め、利用状況を見ながら、計画的に順次進めている。暖房便座への更新についても、観光客の動向とその必要性を鑑みながら、前向きに検討していく。

### 提出された議案と審査結果

議案番号	議案名	審査結果
議案第1号	町道路線の廃止について(町道小八重・中尾線)	可決(全員一致)
議案第2号	町道路線の認定について( )	可決(全員一致)
議案第3号~5号	公の施設の指定管理者の指定について(「売店地蔵の里」ほか2施設)	可決(全員一致)
議案第6号	工事請負契約の変更について(平成28年度町単独事業美郷町役場新庁舎建設工事)	可決(賛成多数)
議案第7号	第2次美郷町総合計画の策定について	可決(全員一致)
議案第8号	小黒木辺地総合整備計画の策定について	可決(全員一致)
議案第9号	共有地の管理及び処分に関する事務の委託に関する規約の変更について	可決(全員一致)
議案第10号	美郷町役場課設置条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)
議案第11号	美郷町支所設置条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第12号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第13号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第14号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第15号	美郷町庁舎整備資金積立基金条例を廃止する条例	可決(全員一致)
議案第16号	美郷町地域福祉基金条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第17号	美郷町税条例等の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第18号	美郷町農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	可決(賛成多数)
議案第19号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第20号	美郷町育英奨学金貸与条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)
議案第21号	記号式投票に関する条例	可決(全員一致)
議案第22号~29号	平成28年度美郷町一般会計・特別会計補正予算	可決(全員一致)
議案第30号	平成29年度美郷町一般会計予算	可決(全員一致)
議案第31号	平成29年度美郷町国民健康保険事業特別会計予算	可決(全員一致)
議案第32号	平成29年度美郷町介護保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
議案第33号	平成29年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(賛成多数)
議案第34号	平成29年度美郷町簡易水道事業特別会計予算	可決(全員一致)
議案第35号	平成29年度美郷町農業集落排水事業特別会計予算	可決(全員一致)
議案第36号	平成29年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計予算	可決(全員一致)
議案第37号	平成29年度美郷町国民健康保険病院事業会計予算	可決(全員一致)
議案第38号	工事請負契約の変更について(平成28年度美郷町簡易水道再編推進事業入下地区配水管布設工事)	可決(全員一致)
議案第39号	工事請負契約の変更について(平成28年度美郷町簡易水道再編推進事業遠方監視設備等工事)	可決(全員一致)
議案第40号	美郷町教職員住宅条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
請願第1号	大内原ダムの魚道設置についての請願	採択(全員一致)
発議第1号	美郷町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)

### 表決結果(上記結果のうち全員一致を除く) ●反対

※森田議員は議長であるため表決には加わりません。

議案名	議員名	那須富重	尾上忠保	黒田仁志	富井裕瑞	甲斐秀徳	甲斐勲一	園田義彦	小路文喜	甲斐栄	小田照男	新玉卓教
議案第6号 工事請負契約の変更について									●			
議案第10号 美郷町役場課設置条例の一部を改正する条例				●		●			●			
議案第18号 美郷町農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例									●			
議案第20号 美郷町育英奨学金貸与条例の一部を改正する条例										●		
議案第32号 平成29年度美郷町介護保険事業特別会計予算									●			
議案第33号 平成29年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計予算									●			

3月定例会には、ご多用の中、13名の方に傍聴にお越しいただきました。ありがとうございました。  
**次定例会は、6月9日(金)、新議場(西郷本庁舎内)において開会予定です。**  
 多くの方の傍聴をお待ちしております。～お問い合わせは議会事務局へ(電話66-3607)～  
 定例会会期日程、一般質問通告一覧を掲載しておりますのでご覧ください。\*美郷町ホームページ(URL) <http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>



## 救急救命体制及び 消防常備化について



園田 義彦 議員

【問】救急救命体制の充実が重要な業務であると理解しているが、現在試行されているエリアを広げ、南郷と北郷側から西郷地域をカバーするような考え方はできないか。また当初は全体で1億円前後の事業費が予想されていたが、29年度は2地区でも9600万円の委託料が計上されている。このことに関しての考えを伺う。次に諸塚村及び椎葉村と連携した消防常備化の検討がなされているが、財政面、地域の広大さを考慮すると慎重な判断が必要と思われるが、考えを伺う。

【答】救急救命体制は30年度からの本格運用を目指しているが、今後検証委員会にて効率よくいかに町全体をカバーできるか十分検討していきたい。委託料については想定外の分もあり膨らんでいるが、今後財政面も含めて検討していく。消防常備化については地域的にも大変厳しいと思われるので、総務省と地域に一番合った方向で協議を進めていきたい。

【問】南郷茶屋改修について  
当施設については、利用しづらいという点で以前改修したが、未だ改修が必要な箇所が見受けられる。今後順次改修をして、利用者の増加を促す必要があると思われるが、考えを伺う。

【答】このような施設を利用する側にとって施設の充実も必要と考える。今後いろいろなイベント等でも利用するような対応をしていきたい。



南郷茶屋

## 臨時職員等の 賃金・手当について



小田 照男 議員

【問】国道388号の改良について  
門川〜黒木間の改良について、今後の要望活動は。

【答】日向土木事務所では早期事業化のため、現道に沿ったルートの見直しを検討しているようである。門川町と一緒にしっかりと取り組んでいく。



国道388号(黒木地区)

【問】高齢者運転免許返納等について  
高齢者の交通事故防止啓蒙と運転免許証自主返納者に対して、何らかの配慮はできないか伺う。

【答】交通安全指導は町安全協会と連携を取りながら進める。町として返納者に対しての支援は検討しているが、返納後の足をどう確保するか、交通安全の面で何らかの支援は考えてもいいのではと思う。返納して下

【問】町長が言う「移住・定住には、こなら生活できるといった基盤が必要」ということからして、町が雇用の、また町が関わる第3セクター、社会福祉協議会の臨時職員等の賃金・手当について伺う。

【答】賃金は職種に応じて月額10万余から17万余であり、最低賃金を下回ることはない。また、公平を保つため毎年度検討しており、不公平はないと思うが、今後もしっかり検討していきたい。

②賞与他手当の支給はどうなっているか。また町の臨時職員、町長がトツプを務め、町から運営委託料が支給されている第3セクター及び社会福祉協議会の臨時職員それぞれ支給内容が異なっているが、同じ待遇で良いのではないか。

【答】町の臨時職員には賞与でなく賃金の割増として支給した。他通勤手当も支給している。第3セクターは会計処理上のももあり、売り上げに応じた手当として支給する等している。株式会社が運営しており、役場臨時職員と一緒にすることは難しい。

さいと言うのは難しい面もあるので、免許保有者自身で考えていただくことも大事と思う。

## 仮庁舎について



富井 裕瑞 議員

【問】新庁舎完成後の現仮庁舎の活用についてどのように取り組むのか、移転の計画も含めて伺う。

【答】現仮庁舎は従来の中央公民館的な機能で利用する。5月中旬には新庁舎の検査を終え移転し、それから執務を行う予定としている。

【問】観光施設について  
町の観光施設運営は厳しい状態にある。集客増にどのように取り組むのか伺う。

【答】自然を生かした観光づくりに努める。  
【問】就労バンク制について  
本町の農林業は、米価を除けば堅調に推移している。反面、労働力の不足が課題になっている職種、職場が

い。賃金、手当を上げるには経営努力が必要であり、しっかり進めていく。  
③賃金はバランスと共にしっかりと生活できる収入が得られることが重要。現行の30〜50代男性で日当6000円から6500円の賃金では一家の大黒柱として生活できるのか。賃金の改善が必要ではないか。賞与についても職場で異なるのを改善すべきではないか。更に子育て支援からして扶養手当的なものは考えられないか。

【答】賃金は町内の民間の実態を見極めながら改善を進めたい。賞与は職種等を勘案して改定すべきは改定する。扶養手当は手当としてではなく、賃金の割増として考えたい。今後検討する。

【問】町道等の維持補修について  
町道・林道の維持補修は建設業者に、除草作業は森林組合に委託しているが、事業者等の経営を圧迫しないように配慮して公共施設維持管理作業班を拡充して町直営で実施できないか。

【答】直営は機動力に劣るし、いろいろな作業に従事することになり、また年間を通じて作業があるか等考えると今まで通り業者委託の方が良いと考える。

大変多い。町を上げて労働者の斡旋、運営する組織を設立できないか伺う。

【答】無料職業紹介所を設置し、季節ごとに年間を通じた仕事を紹介できるサポートを進める。また日向地区の援農隊を活用して労働力確保に努める。

【問】耳川流域河川整備について  
ダム工事が終了し通砂が始まれば、下流域の集落の護岸形状への影響が懸念される。下流域の砂だまり通常水位について伺う。さらに、この工事を機会に、魚道の確保はできないか伺う。

【答】九州電力の方で河川パトロールやモニタリングも続けながら経緯を見守るとしている。町としても堆積等が心配されないよう取り組んでいきたい。魚道については継続的に要望活動を行う。

## 住モリフォーム等について



小路 文喜 議員

【答】定住対策は現在、まち・ひと・しごと創生戦略によって具体的施策を展開中である。一番の課題であり、行政として掛け声だけではいけないので、貴重な意見として検討させていただく。空き家の購入助成は29年度から取り入れる。減免については検討する。



【問】住宅リフォーム制度の実績は、27年度は補助金3000万円に対し事業費1億8400万円、6.1倍であり、過去5年でも補助金の3.8倍から6.1倍と大きな経済効果を生んでいる。厳しい財政事情もあるが、新築家屋建設が少ない中、町内業者の経営を守る観点からも、今後もこの事業を継続することは大切だと考える。

【答】町民生活環境の向上、地域産業の振興も図られ効果は大きいものがある。継続したい。

【問】「西の正倉院」建設から20年を経過したので、再宣伝の意味を含め町内の各種行事の会場として積極的に活用するよう呼びかけられることを提案する。

【答】行事を行うには良い施設だと考えるので活用を検討したい。



西の正倉院

【答】いろいろな課題が出てきた時はその都度協議をしながらどのようにするか決めていきたい。

④日向地域の課題について

【答】担い手後継者不足に対しては何とか現状維持しながら、生産農家自身もしっかりと行政と一緒に取り組んでいただくことが大事と考える。

【問】防災計画について

①熊本地震から得たものは。

【答】救命、復旧支援の司令塔である自治体が役割をしっかりと果たすためには、建物の耐震化を図るだけでなく、公的支援の核となる役場職員の非常時の行動計画が大切で必要であると感じた。

②避難所の施設案内標識がないが。

【答】現在のところ整備されていないが、3月にハザードマップを町民に配布の予定である。案内標識は経費のかかることから今後検討していきたい。

③日向灘沖地震での津波発生時、日向市への後方支援は。

【答】広域的な話し合いの中でしっかりと整備していきたい。

④町内には活断層は存在するのか。

【答】調査の結果、存在しない。

⑤町内個々の住宅、町営住宅の耐震

本町の成長戦略について



黒田 仁志 議員

①町村駅伝大会で本町選手団は初優勝を勝ち取り、町民に大きな感動を与えたが、今後の強化について変わらずご支援を頂きたいが、その決意は。

【答】町長）町としてもしっかりと支援していく。

【答】教育長）万全の態勢で取り組んでいく。

②今後さらに他のスポーツ面、文化面、さらには産業面においても勝利していくことも重要と考えるが、お考えを伺いたい。

【答】町長）産業面でも農林水産大臣賞を受賞された方もいる。しっかりと支援していきたい。

【答】教育長）現在目覚ましい活躍をしている部門もある。さらにバックアップしていきたい。

素晴らしい賞を取った場合はさらにびじょんや防災無線で広報しては。

【答】前向きに検討していきたい。

③ロードレースなどイベントを開催するうえで町民はもちろんだらけ外からのボランティア参加の呼びかけ等も必要と考える。お考えを伺いたい。

【答】職員の負担も大きくなっている。検討していきたい。

職員は頭脳集団として、もつと企画力を発揮してほしい。

【答】一度には無理だが、対策を講じていきたい。

④企業誘致に成功したことは喜ばしいが、町内の隠れた力を引き出す起業支援も重要と考えるが、お考えを伺いたい。

【答】県などの機関を利用して支援していく。

⑤農林業の経営基盤の強化について聞きたい。まずは農業振興課と林業振興課を合わせるということの真意を伺いたい。

【答】一つの改革であり、決して農林業を疎かにするようなことではない。農業と林業は似て非なるものである。本町の基幹産業として支援できるのか。担当者の不安もあるのでは。

【答】職員の数は減らさず運営していく。課長は負担が増えるが、しっかりとした補佐制を敷き、運営していく。

畜産クラスター事業について



甲斐 秀徳 議員

【問】畜産クラスター事業について伺う。

①美郷町の現状について

【答】これは国が支援する事業である。日向地域肉用牛、東臼杵肉用鶏クラスター協議会が設置されており、町の取組は施設系農協繁殖センターを含めて3件、機械導入2件であり、畜産力協力整備事業を実施している。

②この取組の課題は。

【答】長期間のリース料発生、素牛頭数を計画の5年間で揃えなければならぬこと、増頭による粗飼料や労働力の確保等である。畜産技術員や関係機関による指導体制をしっかりと取っていく必要がある。

③素牛導入について短期間に優良牛を揃えるのは大変である。東臼杵市場外からの導入にも補助はできないか。

委員会活動

文教厚生常任委員会

- 調査日及び目的 平成29年1月16日～17日
- ・西米良村における「少子高齢化対策」「地域福祉対策」についての現状や課題など村の取り組みについて
- ・熊本県益城町における熊本地震の状況について

○調査の概要（意見）

- 西米良村の村づくりは、平成の桃源郷「カリコボーズの休暇村・米良の庄」と称して、歴史や文化を大事にしながら交流人口の拡大と移住定住促進を基本方針に進めてきたが、人口減少と過疎の波を極めて厳しく捉えている。そのような中で、都市と山村の交流システムとして、国内初のワーキングホリデー制度を平成10年に導入した結果、定住者や結婚による転入者もあり一定の効果を見せている。また、観光の新たな仕掛けづくり（四季まつりや小川作小屋）、柚子団地造成と後継者育成、有害鳥獣ジビエ加工施設の取り組み等魅力的な政策を打ち出してきた。最近では移住促進の取り組みとして「むら創生課」を設置（平成27年）したほか、地域おこし協力隊の導入（平成28年4名、定着4名）により様々な事業に活躍しているとのことである。これらの取り組みが複合的に効果を奏して、全体的には人口減少が続くも、減少スピードが10年以上遅くなっており、将来予測人口も現状維持を見込むなど自信を持っている様子が伺われた。
- 益城町における熊本地震については、発生以来9ヶ月を迎えているが、いまだ家屋等居住施設の復興について目処が立っていない状況であった。近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震の脅威を改めて認識したところであり、被災地から見えてきた課題を検証し、不測の事態に備える必要性を再認識したところである。本町も、地域防災計画を更新し対応に万全を期しているが、これからも関係機関と町民一体となり、災害訓練やボランティア訓練等を通じて啓発、周知を継続するなど、災害対策の重要性を再確認すべきと感じた。



西米良村保健センター



おがわ作小屋村



# 議 会 活 動

## 1月

- 3日／美郷町成人証書授与式
- 5日／美郷町消防出初め式
- 8日／第7回県市町村対抗駅伝競争大会及び開会式（～9日）
- 16日／文教厚生常任委員会所管事務調査（～17日）
- 24日／九州中央自動車道合同提言活動（～26日）
- 27日／日向東白杵広域連合議会運営委員会
- 30日／日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会議員研修会
- 31日／時局講演会



日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会議員研修会

## 2月

- 7日／美郷町金婚式
- 9日／県自治会館管理組合議会第1回定例会
- 10日／県町村議会議長会役員会
- 12日／第11回女性のつどい
- 14日／入郷地区衛生組合議会 / 日向東白杵広域連合議会  
県町村監査委員協議会第58回定期総会・研修会
- 16日／県町村議会議長会第68回定期総会
- 23日／第2回県北部広域行政事務組合議会
- 24日／議会運営委員会 / 全員協議会
- 26日／第20回ロードレース in 百済の里



時局講演会

## 3月

- 1日／東白杵郡町村議会議長会定期総会
- 3日／第1回定例会（～17日）
- 21日／豊田市議会行政視察来庁
- 28日／議会広報特別委員会



第1回定例会現地調査(町道黒草・清水峠線)

表 彰

県町村議会議長会表彰  
尾上 忠保 議員

議員として12年以上在職し、その功績により  
県町村議会議長会より表彰されました。

## 編集後記

暖かく穏やかな天候が続き、日  
ましに春らしい気配を感じる一  
方、再び冷え込んだりと、今年  
は春の訪れが気まぐれなようです。  
これから気温も上昇する予報で  
すが、桜も一気に開花すること  
でしょう。

さて、3月定例議会も3月3日  
から17日までの15日間開催され、  
提出された40件の議案は、いず  
れも原案のとおり可決しました。

今、町内では、健康づくりの充  
実のため、各地域で自主運動グ  
ループによる「いきいき百歳体  
操」が実施されています。その効  
果もあつてか、国保会計における  
一人当たり医療費が減少の傾向に  
あります。

我々議会も残された任期で、で  
きる限り、皆様の期待にお応え  
できるよう議員の職務を全うする  
所存です。

新庁舎も完成間近です。  
ぜひ、新議場での傍聴にも足を  
運んでいただきますようお願い  
いたします。

(編集委員)

- 委員 長…小路 文喜
  - 副委員 長…那須 富重
  - 委員 員…甲斐 秀徳
  - 委員 員…小田 照男
  - 委員 員…新玉 卓教
- 〓〓ご意見をお寄せください〓〓